

# 幕張新都心まちづくり将来構想 原案

幕張新都心課  
2021/11/04版

- 幕張新都心は「職・住・学・遊」の複合機能を備えた未来型の国際業務都市として発展を遂げてきた。
- これまでの幕張新都心の歴史・歩みを踏まえると、幕張新都心のまちづくりに取り組む上で「千葉市の幕張新都心」はもとより、千葉県・首都圏の拠点でもある幕張新都心を成長させていく必要がある。
- 幕張新都心は、旧千葉県企業庁が主体となりまちづくりを進めてきたが、旧企業庁事業の収束に伴い、幕張新都心の未来に向けたまちづくりに市が主体的に取り組む必要がある。
- 多様な関係者が活躍する幕張新都心において、まちが更に成長していくためには、目指すべき方向性の共有が必要となる。
- 幕張新都心が、新たな取り組みを取り入れながら発展してきたこれまでの30年間の歩みを踏まえ、今後も更に発展していくまちであり続けるため、概ね20～30年後の将来を見据えたまちづくりの方向性を示す「幕張新都心まちづくり将来構想」を策定する。

	項目	概要	ページ
1.	各種計画における将来像・位置づけ	幕張新都心に関する各種計画から、これまでの将来像・位置づけについて整理。	
2.	幕張新都心のあゆみ	幕張新都心で積み重ねられてきた様々な取組の歴史を整理。	
3.	現状分析	これまでの取組を踏まえた幕張新都心の現状を整理。	
4.	考慮すべき将来の変化	文献調査をもとに、幕張新都心を取り巻く中長期的な外部環境変化を整理。	
5.	関係者・市民の思い	関係者ヒアリング・懇話会・住民企業WSを通し、幕張新都心への市民の思いを整理。	
6.	幕張新都心への有識者の視点	有識者ヒアリング・懇話会を通し、幕張新都心に対する有識者の見解を整理。	

 上記1~6.を受けて「幕張新都心が目指すべき姿」を検討

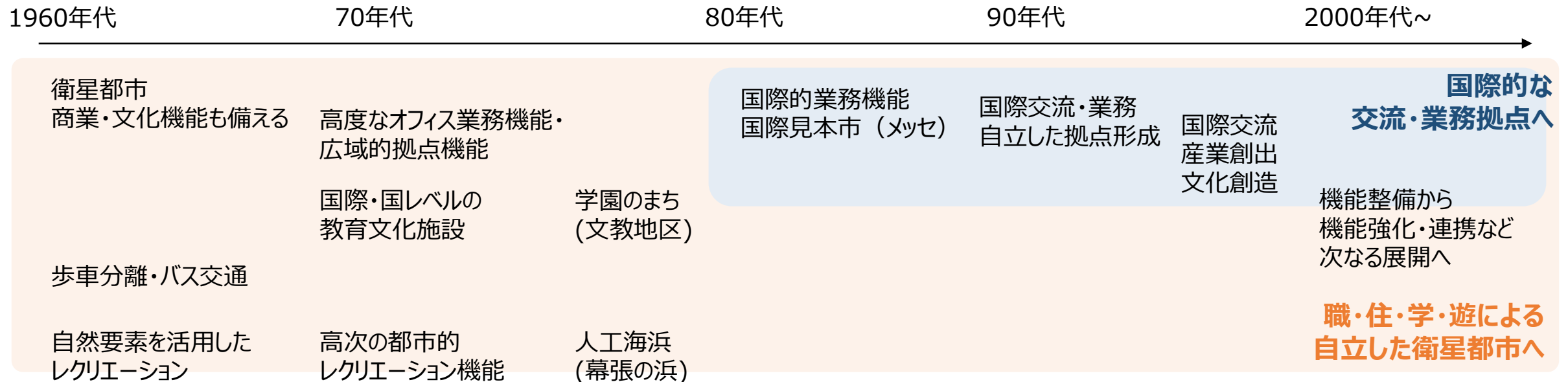
7.	幕張新都心が目指すべき姿	1~6を受けて、幕張新都心のあゆみや現状分析、将来の変化等を踏まえ、幕張新都心が目指すべき姿について整理。	
8.	目指すべき姿へ向かうために：まちづくりの方向性	目指すべき姿を実現するにあたり、取りうるまちづくりの方向性について例示。	
9.	幕張新都心の変革による期待効果・広域への波及		

# 1. 各種計画における将来像・位置づけ

- 幕張新都心は、**明確な土地利用計画**のもと、幕張メッセをはじめ、オフィスビル、教育・研究施設やホテル・商業施設及び幕張ベイタウンや若葉住宅地区の整備の推進により、「**職・住・学・遊**」の複合機能の集積が進み、また、**未来型の国際業務都市**の形成を目指し発展してきた。

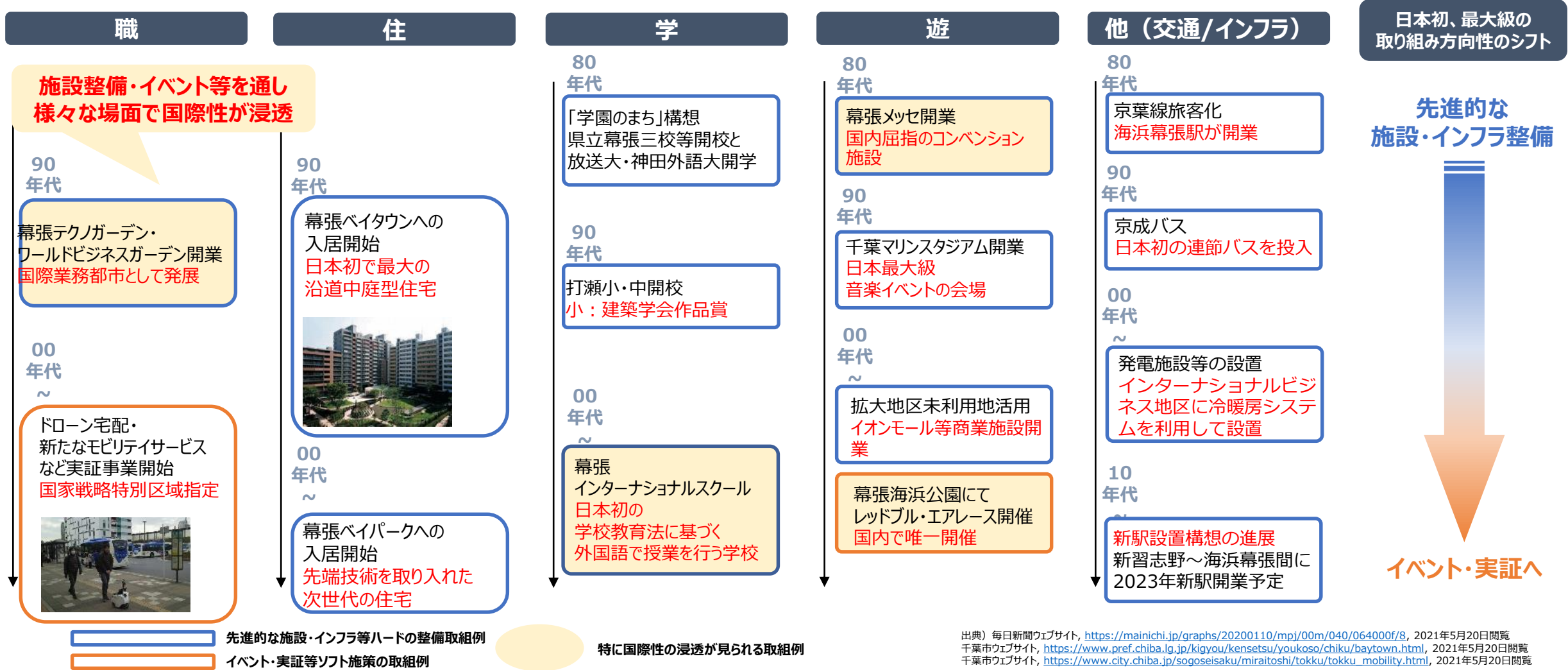
- (1) 幕張メッセを核とした国際的な業務機能の集積
- (2) 先端・成長産業の中核的業務機能及び研究開発機能の集積
- (3) 先端技術産業に対応する高度な人材を育成する学術・教育機能の集積
- (4) 新しい時代の社会的ニーズやライフスタイルに対応した快適で魅力的な居住空間の実現

## これまでの各種計画におけるキーワード



# 2. 幕張新都心のあゆみ

- まちびらき以降、**日本初・日本最大級など先進的な施設・インフラを整備**してきた。近年では**イベント・実証**など様々な先進的な取組も進められるなど、先進性はハードだけでなくソフトにも浸透しつつある。
- 様々な取組の中で、国際性の浸透**が見られることが、もう一つの特徴として挙げられる。



     先進的な施設・インフラ等ハードの整備取組例  
     イベント・実証等ソフト施策の取組例  
     特に国際性の浸透が見られる取組例

出典) 毎日新聞ウェブサイト, <https://mainichi.jp/graphs/20200110/mpj/00m/040/064000f/8>, 2021年5月20日閲覧  
 千葉市ウェブサイト, <https://www.pref.chiba.lg.jp/kigyuu/kensetsu/youkoso/chiku/baytown.html>, 2021年5月20日閲覧  
 千葉市ウェブサイト, [https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/miraitoshi/tokku/tokku\\_mobility.html](https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/miraitoshi/tokku/tokku_mobility.html), 2021年5月20日閲覧

# 3. 現状分析 (1)

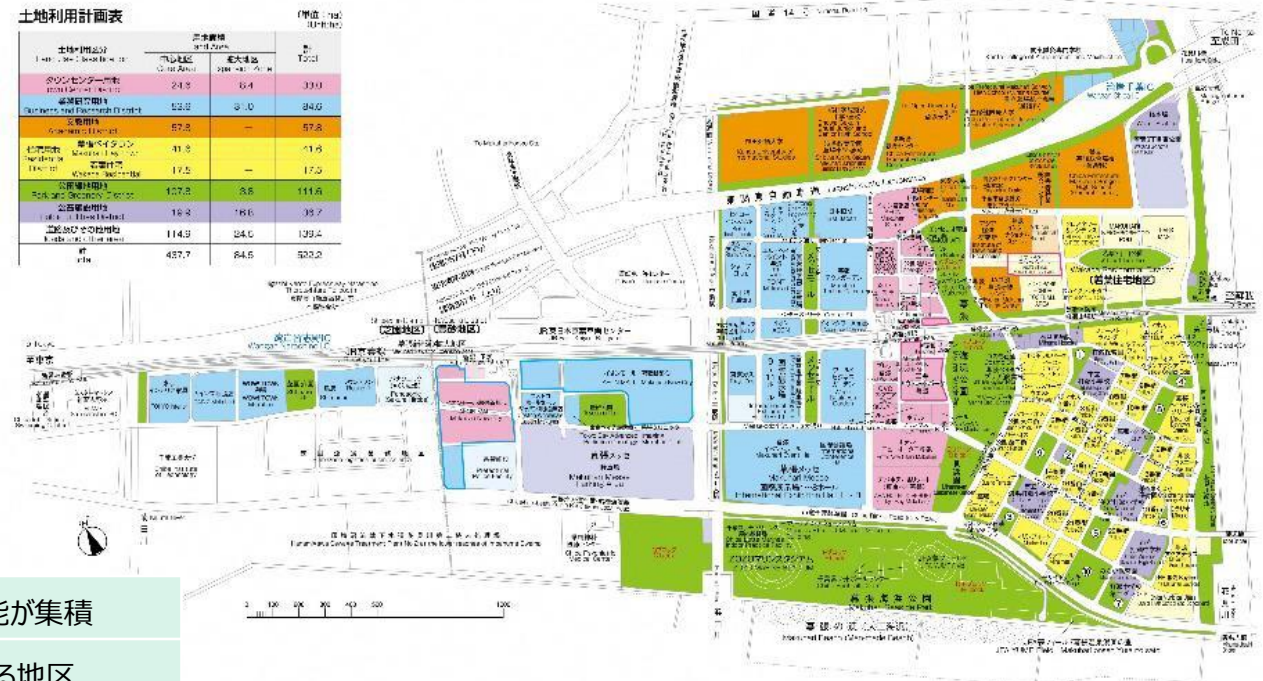
- これまでの開発・整備により、幕張新都心は「職・住・学・遊」の複合機能が集積した拠点として発展し、日々の活動人口は2020年時点で230,000人まで成長した。

	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
日々活動人口	75,500人	91,900人	119,500人	147,000人	225,000人	230,000人

※日々活動人口：就業者・居住者・就学者・来訪者の合計

土地利用計画表

土地利用区分	計画区域 面積(k㎡)	最大容積 率(%)	計 画 容 積 率 (%)
タウンスーパー用地 Township Supermarket District	24.5	6.4	33.0
商業施設用地 Commercial District	52.0	3.0	64.0
文教用地 Cultural District	57.3	—	57.3
住宅用地 Residential District	41.3	—	41.3
公園緑地用地 Park District	17.5	—	17.5
公園緑地用地 Park District	157.2	3.8	144.6
公園緑地用地 Park District	18.4	18.6	35.7
公園緑地用地 Park District	114.9	24.0	129.4
計 画 容 積 率 (%)	457.7	84.6	522.2



職	業務研究用地	国際的な業務機能、本社機能、先端産業の研究開発機能が集積
	拡大地区	業務・商業施設が立地し、中心地区を補完、更に発展させる地区
住	住宅用地	マンション群などからなる新しい時代の快適な居住区間
学	文教用地	21世紀に対応する多様な人材育成の場
遊	タウンセンター用地	ホテルや商業施設などを中心とする賑わいや交流の場を提供
	公園緑地用地	幕張海浜公園を中心とする新都心の憩いとやすらぎの空間

出典)千葉市ホームページ,  
[https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/sogoseisaku/chosei/documents/makuhari2017\\_web-04.pdf](https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/sogoseisaku/chosei/documents/makuhari2017_web-04.pdf),  
 2021年8月9日閲覧

# 3. 現状分析(2) 職

- 職**
- 国内外を代表する企業15社のオフィスビルが立地し、**約530社、約6万人**が就業している。(2020年4月現在：幕張新都心活動人口調査)
  - 特に**情報通信業従事者が全体の13%程度**を占め、産業大分類上では卸売・小売業に次いで2番目の多さである。(平成26年経済センサス基礎調査)
  - (区単位でみると)全従業者に占める美浜区居住者は24.4%であり、市内他区と比べて自区居住者の比率が低く、**広域拠点性を有する**。(平成27年国勢調査)
  - 地域内でのスタートアップ・ベンチャーなど新産業創出の動き、産学連携に関する取組も見られており、これらをより伸ばしていく必要がある。**

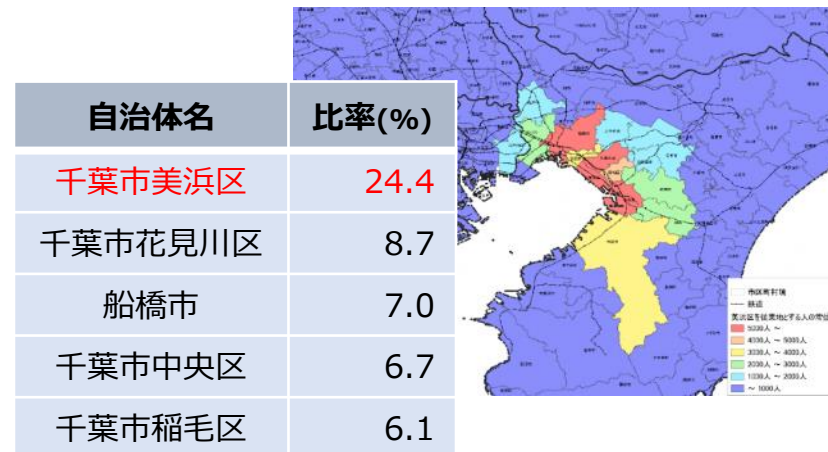
就業者(人/日)・事務所数の推移(1995年~2020年)

	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
<b>職</b>						
<b>就業者</b>	35,000人	38,000人	41,000人	49,000人	57,000人	<b>60,000人</b>
<b>業務研究地区事務所数</b>	—	260社	400社	500社	430社	<b>530社</b>

幕張新都心の全従業者に占める業種別比率  
(平成24年 経済センサスベース)  
産業大分類別 上位5分類

卸売業, 小売業	27.6%
情報通信業	13.4%
サービス業 (他に分類されないもの)	13.1%
宿泊業, 飲食サービス業	10.8%
教育, 学習支援業	6.7%

美浜区を従業地とする人の常住地比率  
(平成27年国勢調査ベース)



-幕張新都心における新産業創出の動きと産学連携ポテンシャル-

幕張ビジネスポート・創業支援貸しオフィス開業



千葉市高校生向け  
産学官連携講座



# 3. 現状分析(2) 住

## 住

- 居住者は順調に増加し、約27,000人、世帯数約10,000世帯（2021年3月現在）。地域住民による活動も活発化してきた。
- また今後、高齢化率の上昇、外国人の増加が見込まれており、幕張での生活者の構成も変化する。
- 特に、他の首都圏新都市と比較して、より居住者の多い“住”機能が充実した都市として特徴づけられる。

居住者数の推移（1995年～2020年）

		1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
住	居住者	1,500人	8,900人	17,500人	23,000人	25,000人	27,000人

幕張新都心の住環境に優れ、  
地域で働きやすく暮らしやすい環境への声（市民と有識者）

幕張新都心居住者向けアンケート(2020年実施)

※幕張新都心入居後に充実・強化していると感じたこと 上位10項目(32項目から3つ選択)

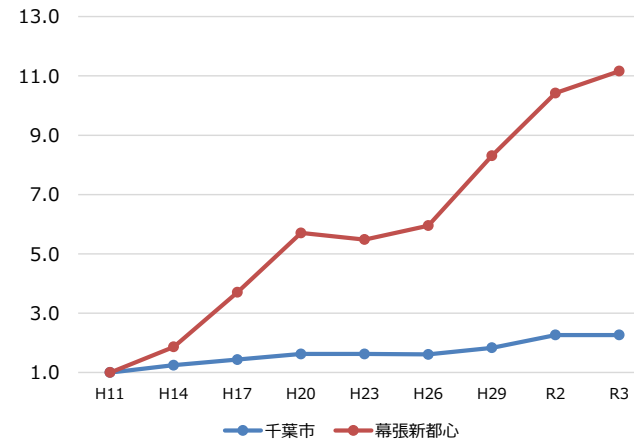
①公園・緑地環境②街並み景観③商業施設集積が、  
充実・強化されたと感じられている



幕張新都心での生活者構成の変化

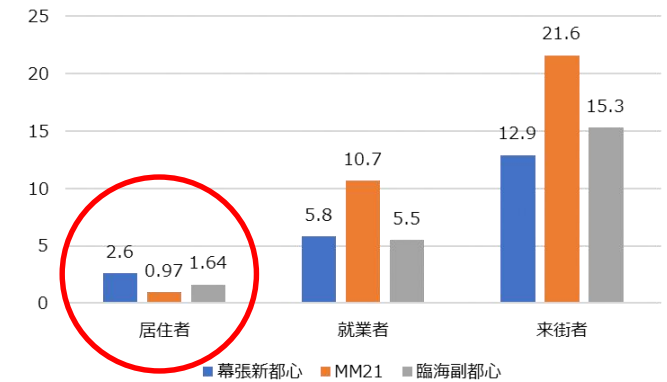
幕張新都心は、2015-2040年にかけて30%以上高齢化率が上昇すると予測されており、急激な高齢化を迎える。さらに、美浜区単位で見ると外国人比率も徐々に上昇しており、生活者の構成が変わりつつある。

外国人人口の変化率（H11=1）



各種活動人口の変化（他都市との比較）

現在の活動状況（万人）



現在：幕張新都心は平成30年4月現在、  
MM21(みなとみらい)は平成30年3月末現在、  
臨海新都心は平成29年現在

## 有識者からの 関連するご意見

今後、幕張新都心のように自然と都市機能が両立している地域は、地方志向の若者にも注目される。人工物と自然との相互の関わりが今後肝要になる。これらの往来で、人は新たなアイデアが生まれるとも言われている。

幕張新都心では、東京よりもスケールの大きな「田舎」を提供できるはずだ。コロナ禍の今、「広さ」の価値は高まっている。

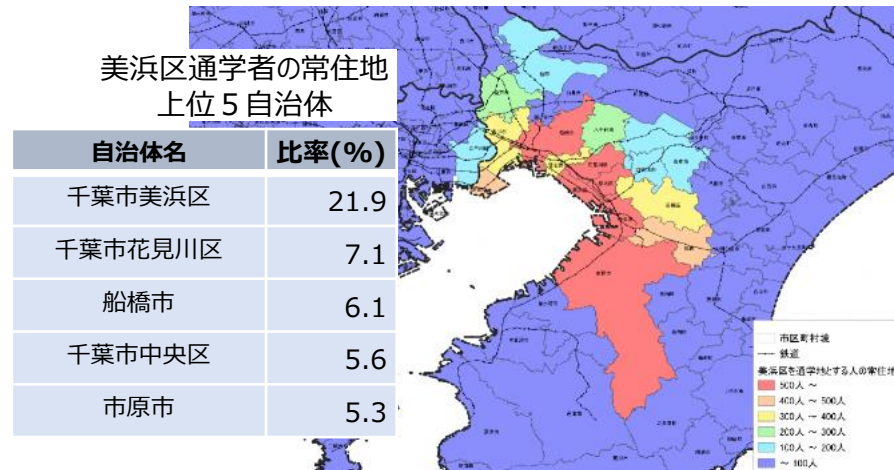


- 学**
- 小学校3校、中学校1校、高等学校3校（うち2校が中学校を併設）、大学4校、専門学校1校、インターナショナルスクール1校が開校し、**約12,000人**の学生が幕張新都心で学んでいる（2020年4月現在）ほか、7つの研究施設等が立地している。
  - (区単位でみると)全通学者に占める美浜区居住者は21.9%であり、市内他区と比べて自区居住者の比率が低く、**広域拠点性を有する**。(平成27年国勢調査)
  - 他の新興都市と比較しても**教育機関立地・在学者数の規模が大きく**、また**地域での学びの取組も見られ**、**今後地域で様々な学んで楽しむことができる取り組みを進めることも期待**できる。

### 就学者の推移（1995年～2020年）

		1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
学	就学者	9,000人	9,000人	10,000人	10,000人	11,000人	<b>12,000人</b>

### 美浜区を通学先とする人の常住地比率(平成27年国勢調査ベース)



### 新興4都市における2021年時点教育機関立地と在学者数

	小学校		中学校		高校		短大・大学・大学院		合計	
	校数	在学者数	校数	在学者数	校数	在学者数	校数	在学者数*1	校数	在学者数*2
幕張新都心	3	1,838	3	1,957	3	3,537	2	4,950	11	12,282
さいたま新都心	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨海副都心	2	1,705	2	664	0	0	3	7,404	7	9,773
みなとみらい21	1	413	0	0	0	0	1	4,462	2	4,875

※学校教育法に基づく全国の小学校、中学校、中等教育学校、高等学校、高等専門学校、短期大学、大学（サテライト等除く）を集計。特別支援学校や専門学校は除く。

### 県立保健医療大学・公開講座 2018年・2019年と地域住民を対象とした公開講座を実施。



### 有識者からの関連するご意見

居住人口を考慮すると、就業場所や学びの場がよりあるべきである。

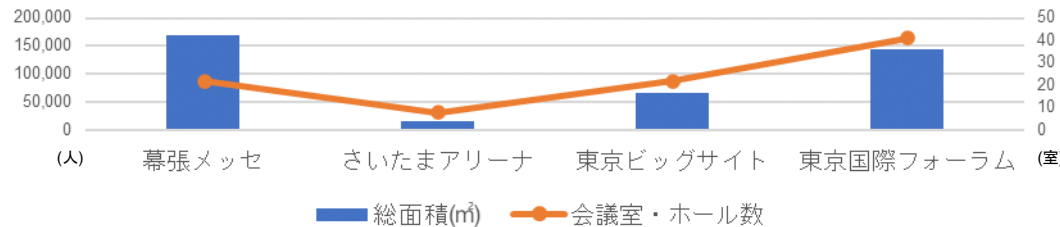
放送大学に、生涯学習の場として様々な世代や地域の方が参加出来ると良い。

- ・ 幕張の浜、幕張海浜公園など憩いの場となる環境整備、ホテルや大規模商業施設等の整備により幕張新都心の賑わいが創出され **1日あたり約131,000人、年間で約4,800万人**が来訪している。(2020年4月現在)
- ・ **幕張メッセ**のイベントホール規模は今なお他ホールと比較しても突出しており、催しのうち「**イベント・音楽イベント**」が半数近くとなっている。
- ・ 住民アンケートによると、「**商業施設の集積**」は進んだと評価されている一方、「**公共公益施設の充実な取組**」や「**文化・芸術に触れる機会創出**」に関する評価が低く、また関係者からも文化・芸術に関する場の充実が望まれている。

【再掲】来訪者数(人/日)(人/年)の推移 (1995年～2020年)

		1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
遊	来訪者	30,000人	36,000人	51,000人	65,000人	132,000人	<b>131,000人</b>
年間来訪者数		1,100万人	1,300万人	1,900万人	2,400万人	4,800万人	<b>4,800万人</b>

他都市イベントホールとの比較から見える幕張メッセの特徴



住民と関係者から見た幕張新都心

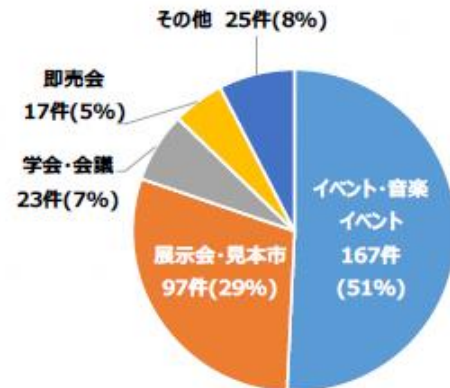
住民アンケート結果 (2020年度実施)  
幕張新都心に入居したあと、充実・強化していると感じたこと (3つ選択)

公園・緑地環境	41.2
街並み景観	33.0
<b>商業施設の集積</b>	<b>31.8</b>
サイクル・カーシェアサービスの導入・拡大	24.5
駅前など広場・空間の整備	21.9

関係者からの関連するご意見

幕張新都心の内部に文化的な場所がない。図書館・ホール・芸術的な機能があまり無い。  
ナイトライフの選択肢が少ない。  
京都などと比較してもまちとしての厚みがなく、メッセで行われた会議のついでに出来ることが少ない。

幕張メッセ  
分類別 開催実績(2019年)



公共公益施設の充実な取組	4.2
文化・芸術に触れる機会創出	0.9

その他	先端的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>国家戦略特別区域に指定され、ドローン宅配、新たなモビリティサービスなどの実証事業への取組が進んでいる。</li> <li>文化面でも、多層都市「幕張」など、先端技術を導入した取組が行われている。</li> </ul>
	交通・回遊性 地域交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>京葉線、東関東自動車道などのインフラ整備により、幕張新都心の域外からのアクセスは向上してきた。接続バスなど地域内外を結ぶバス便が整備されるほか、モビリティの向上に関する取組としてシェアサイクルが近年開始し、2018年導入後1年2ヶ月でステーション数は約6倍、利用ユーザー数は約10倍と順調に増加している。</li> <li>一方、エリアがゾーニングされ規模が大きいため、よりゾーン間の交流・回遊を生み出すべきとの声も見られ、今後は一体感を意識しながら協働できる取り組みが望ましい。</li> </ul>

### 様々な先端的取組

### 交通と回遊性域外からのアクセス向上と域内交流の課題

#### AI デマンドバス



#### アートプロジェクト：多層都市「幕張市」



#### ドローン物流



#### 現行の域外からのアクセス

京葉線の整備により、東京駅からのアクセスは最速30分。  
東関東自動車道の整備により、自動車でのアクセスも良好に。



#### 域内交流の課題

近年シェアサイクルが開始され利用ユーザーも順調に増加している。  
一方で、これからも協働できる取組を進める必要がある。

#### 有識者・関係者からの関連するご意見

- これまでゾーン同士の回遊や交流が希薄だったため、まち独自の雰囲気・空気感がない。
- 新駅の開業を回遊性向上にどう役立てるかの議論が必要だ。
- 幕張新都心のなかの移動の手間が大きすぎるのは課題である。
- 平日に徒歩で移動するにはエリアが広すぎる。回遊性を向上すべきだ。

その他	多主体連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元住民だけでなく、企業・自治会など多様な主体が連携したイベントの実施など、<b>多主体連携の機運は高まりつつある。</b></li> <li><b>他都市では官民連携によるエリアマネジメントの事例が見られるが、今後はまちのプレーヤー全体が協働できる組織の組成、プレーヤー同士の連携の円滑化が進むことが望ましい。</b></li> </ul>
	公共空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕張新都心では、これまでの開発で<b>海辺空間・道路・広大な公園など公共空間が整備されてきた</b>ため、よりこれらを有効活用することで、幕張新都心の多様な活動主体が訪れ・新たな取り組みが生まれる場を創出できる。</li> <li><b>他都市でも、公園や道路を活用した賑わい向上の取り組み</b>（例.公園、道路（歩道）を活用したオープンカフェなど）が行われている事例が見られる。</li> </ul>

### 多主体連携機運の高まりと他都市におけるエリアマネジメント事例

地元住民・起業・自治会など  
多様な主体が連携したイベント実施

幕張新都心クリーンの日



街なかオープンガーデン作戦



他都市における  
官民連携エリアマネジメント事例

みなとみらい21や大阪梅田エリアなど、官民様々な関係者によるエリアマネジメント組織を組織し、連携によるまちづくりを進める事例も見られる。



### 幕張新都心のポテンシャルある空間を活用する 他都市における公共空間活用事例

駅周辺公共空間の活用事例  
名鉄豊田市駅周りの空間利活用



空間の柔軟利活用活用事例  
天神明治通り沿いの公開空地(福岡銀行)の利活用



幕張新都心イルミネーション



### 関連するご意見

役割の似ている会議体が複数あるが、街全体の会議が出来る組織があると良いのではないかと。

幕張新都心の企業とも協定を結んでいますが、もっと様々な交流があつて良いのではないかと。

# 3. 現状分析(3) その他(3)

その他	社会基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕張新都心の社会基盤は1980年代以降に整備されたため、間もなく更新のタイミングを迎える。</li> <li>現在、<b>防災拠点化など防災面の取り組み</b>が進んでいるが、幕張新都心は低地であり、特に地震による液状化、高潮などのリスクを抱えているため、<b>今後もより取組を進展させる必要</b>である。</li> </ul>
	インフラ安全	

## 参考：国土交通省所管分野における維持管理・更新費の推計結果

2018年度を基準とすると、1年あたりの維持管理・更新費は、20年後に概ね1.3倍程度になり、26年後の2044年に最大の1.4倍となる。

	2018年度※1	最大値は <b>7.1兆円</b> (26年後(2044年度)時点) 倍率 <b>1.4倍</b>				30年間 合計 (2019~2048年度)
		5年後 (2023年度)	10年後 (2028年度)	20年後 (2038年度)	30年後 (2048年度)	
12分野合計	5.2	5.5 ~ 6.0	5.8 ~ 6.4	6.0 ~ 6.6	5.9 ~ 6.5	176.5 ~ 194.6
道路	1.9	2.1 ~ 2.2	2.5 ~ 2.6	2.6 ~ 2.7	2.1 ~ 2.2	71.6 ~ 76.1
河川等※2	0.6	0.6 ~ 0.7	0.6 ~ 0.8	0.7 ~ 0.9	0.7 ~ 0.9	18.7 ~ 25.4
下水道	0.8	1.0 ~ 1.0	1.2 ~ 1.3	1.3 ~ 1.3	1.3 ~ 1.3	37.9 ~ 38.4
港湾	0.3	0.3 ~ 0.3	0.2 ~ 0.3	0.2 ~ 0.3	0.2 ~ 0.3	6.0 ~ 8.3
その他6分野※3	1.6	1.6 ~ 1.8	1.3 ~ 1.4	1.2 ~ 1.4	1.6 ~ 1.7	42.3 ~ 46.4

## 防災拠点化と今後の進展

イオンモール幕張新都心が災害対策基本法上の「指定公共機関」として指定され、神田外語大学と連携協定を締結するなど、防災面での取組を進めている。一方、幕張新都心は低地であり、特に地震による液状化、高潮などのリスクを抱えている。今後も防災面での取組が必要である。

### イオンモール幕張新都心 神田外語大学「大規模災害への備えに関する連携協力協定」(2019年締結)

- イオンは神田外語大学からの物資支援要請に基づき、保有または調達可能な支援物資（食料、日用品等）について速やかに対応し、指定場所へ運搬を行う。
- イオンが実施する防災訓練・防災啓蒙に対し、神田外語大学の学生・教職員の参加等を通じて必要な協力を行う。

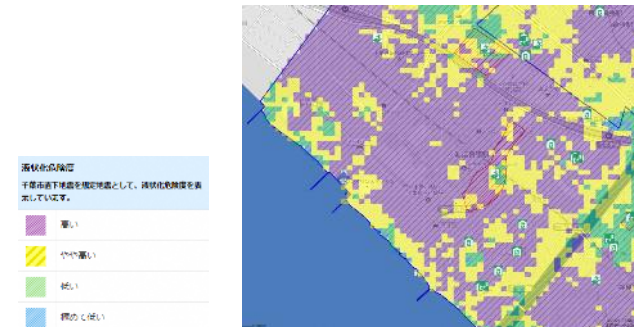
## 海浜幕張駅周辺の帰宅困難者用一時滞在施設

施設名	受入可能人数
千葉県総合教育センター	562
千葉県立保健医療大学	671
幕張メッセ	2,500
海浜幕張駅周辺施設	150
市町村職員中央研修所	250

## 有識者・関係者からの関連するご意見

- 全てを一気に変えるのではなく、全体像を踏まえながらバージョン管理をしていくことが重要であり、柔軟な都市づくりが必要である。
- まちびらきから30年が経ち、インフラの老朽化・大規模修繕など懸念がある。
- あと10年ほどで建て替えの時期を迎えるのではないか。同じようなものを建てるのではなく、知恵をだしながら今後のあり方を検討してほしい。
- いかに公共の負担を減らしながら、まちづくりを進めるかが肝要だ。

**液状化リスク**  
(幕張新都心は「やや高い(黄)」「高い(紫)」が多い)



**浸水域 (想定最大規模)**  
(幕張新都心は「1m以上(黄色)」が多い)



# 4. 考慮すべき将来の変化

世界における日本、日本における幕張新都心の位置づけが変容し、産業構造の変化や技術革新も進展。一方、幕張新都心を牽引してきたオフィス・コンベンション機能に対するニーズも変化。

今後、活動する人・活動のスタイルがより多様化。

今後、持続的な都市経営が求められるが、少子高齢化による財源の減少等もあり、行政のみの都市経営は困難になる。機能バランスを活かした全体最適のまち運営により新たな価値を創出するフェーズに突入。

## 経済・産業に関する変化

### 【国内での環境】

広域的に見たときの幕張新都心の位置づけも変容。

### 【新技術/産業構造変化】

AI/IoTなど技術革新が進む。サービス産業化・創造産業化が進展し、求められる人材も変化。

### 【国際的な環境】

中国、インドなど新興国の成長・日本の相対的地位低下。

### 【オフィス需要低下】 【コンベンション機能の変容】

コロナ禍によるテレワーク化でオフィス空室率が上昇し、コンベンション事業が変容。

## 多様化・国際化に関する変化

### 【社会機運の高まり】【グローバル化】

SDGsのなかでも多様性がうたわれるなど、社会的な機運が高まる

グローバル化の進展により、在住外国人も増加が予想

### 【人口減少】 【少子高齢化】

今後急速に人口減少・高齢化が進展

## 生活・ライフスタイルに関する変化

### 【学びへの意識変化】【余暇時間の変化】【働き方の多様化】

人生100年時代のなかで、リカレント教育なども浸透

ワークライフバランスの意識が高まり、余暇時間に対する意識も向上

コロナ禍によりテレワークが進展し住環境に対する価値観も変化。

## 都市のマネジメント/安全・安心に関する変化

### 【行政による維持管理】

地方財政が厳しい状況、インフラ維持管理の負担も増大し、従来の行政による

### 【開発から維持管理へ】

維持管理が困難になる。時代の潮流として今後、柔軟に空間を活用しながら維持管理する重要性が高まる。

### 【安全面・環境面での持続可能性】

今後の災害の激甚化が懸念。カーボンニュートラルなど環境面での持続可能性の対応も必要。

# 4. 考慮すべき将来の変化

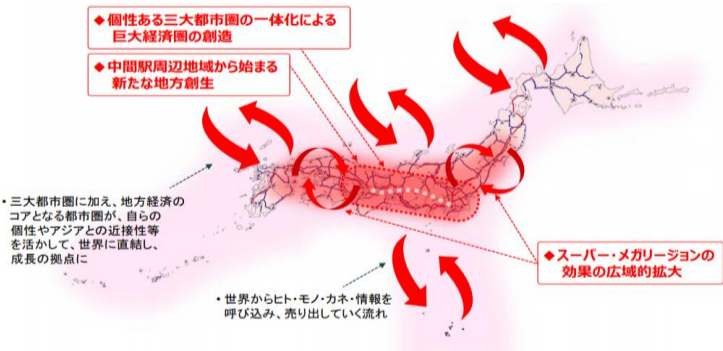
世界における日本、日本における幕張新都心の位置づけが変容し、産業構造の変化や技術革新も進展。一方、コロナ禍を経てオフィス・コンベンション機能に対するニーズも変化。

## 経済・産業に関する変化

### 【国内での環境】

広域的に見たときの幕張新都心の位置づけも変容。スーパー・メガリージョンの形成による都市の競争力の変化、羽田空港国際化進展により、成田空港に近接する幕張新都心の強みが揺らぐ可能性。

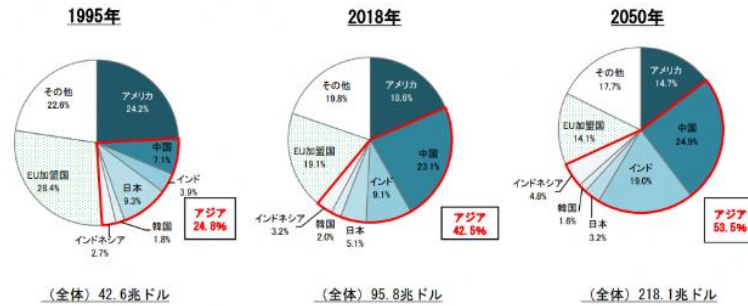
### スーパー・メガリージョンの形成



### 【国際的な環境】

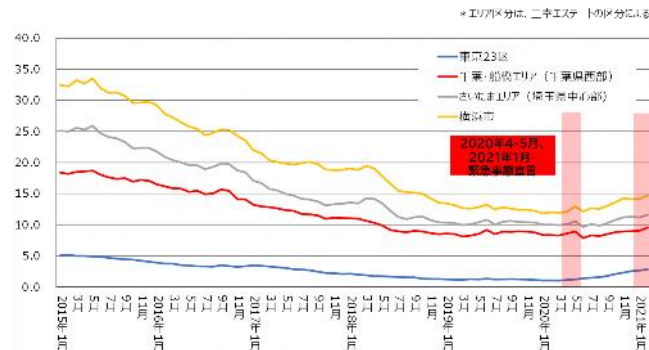
中国、インドなど新興国の成長・日本の相対的地位低下。

### GDPの各国割合の推移(USドル)



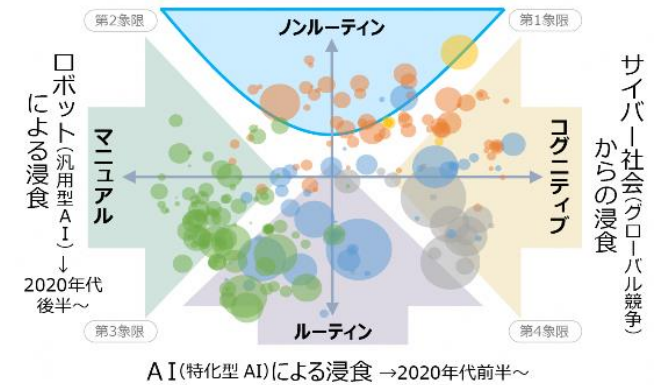
### 【オフィス需要低下】

今後もテレワークが浸透すると、オフィス需要の低下が懸念される。



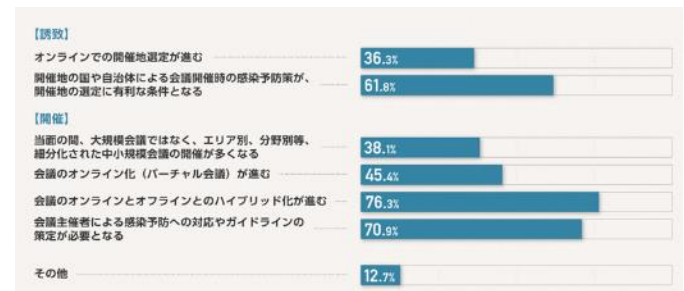
### 【新技術/産業構造変化】

AI/IoTなど技術革新が進む。サービス産業化・創造産業化が進展し、新たなコト・モノを創り出す人材が、求められるように。  
テクノロジーによる人材への浸食



### 【コンベンション機能の変容】

小型化・バーチャル化・ハイブリッド化などが生じる可能性。



出典：  
国土交通省「スーパー・メガリージョン構想検討会 最終とりまとめ (令和元年5月20日) 人口減少のうちかつスーパー・メガリージョンの形成に向けて～時間と場所からの解放による新たな価値創造～最終とりまとめ本文、参考資料」  
[https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudoseisaku\\_tk3\\_000091.html](https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudoseisaku_tk3_000091.html), 2021年2月8日閲覧  
国土交通省「参考資料1 2050年の国土に係る状況変化」,  
<https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001361257.pdf>, 2021年5月20日閲覧  
三菱総合研究所「大ミスマッチ時代を乗り越える人材戦略 第3回 2軸・4象限で示す日本の人材ポートフォリオの姿 2030年の人材マッピング(2018年8月23日)」,  
<https://www.mri.co.jp/knowledge/insight/20180823.html>, 2021年5月26日閲覧  
三幸エステート「相場データ」, <https://www.sanku-e.co.jp/data/tokyo/>, 2021年3月16日閲覧より三菱総合研究所作成  
JNTO, <https://mice.jnto.go.jp/features/newnormal/>, 2021年6月7日閲覧

# 4. 考慮すべき将来の変化

## 今後、活動する人・活動のスタイルがより多様化。

### 多様化・国際化に関する変化

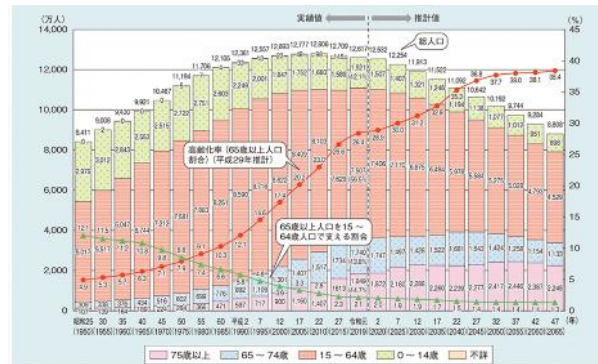
#### 【社会機運の高まり】

SDGsのなかでも多様性がうたわれるなど、社会的な機運が高まる。  
日本のSDGsの達成度（上段）と進捗（下段）



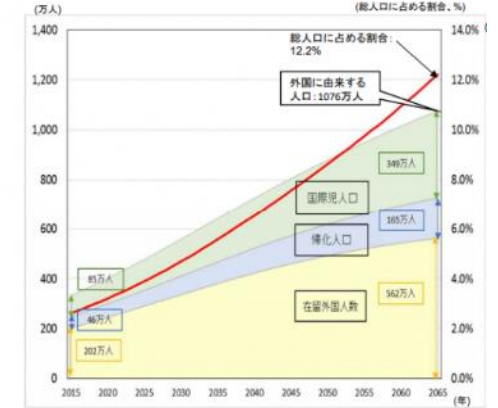
#### 【人口減少】【少子高齢化】

今後急速に人口減少・高齢化が進展。



#### 【グローバル化】

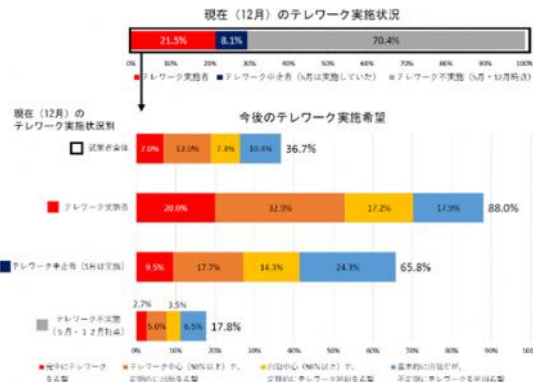
グローバル化の進展により、在住外国人も増加が予想



### 生活・ライフスタイルに関する変化

#### 【働き方の多様化】

コロナ禍によりテレワークが進展し住環境に対する価値観も変化。



#### 【余暇時間の変化】

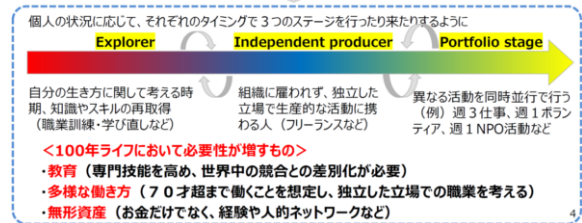
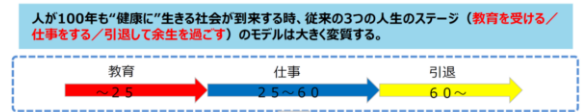
ワークライフバランスの意識が高まり、余暇時間に対する意識も向上

(回答者数/回答対象者数)	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
本格的な趣味 (芸術、料理等)	30.8%	25.4%	15.2%	12.4%	11.4%	11.6%	9.2%
教育・学習 (新しい分野、技術、語学等)	29.4%	23.3%	11.3%	8.3%	6.2%	4.6%	4.1%
オンラインでの発信・交流	28.8%	20.9%	14.2%	10.4%	8.9%	7.4%	5.7%
ビジネス関係の勉強 (資格取得、スキルアップ、転職準備等)	11.5%	17.2%	12.1%	9.5%	5.5%	2.7%	0.7%
ビジネス (起業、副業、副業品開発等)	6.3%	9.4%	7.3%	4.5%	2.5%	1.3%	0.4%
自営生活に関わること (今までやれなかったこと)	24.9%	27.4%	30.8%	29.0%	28.1%	29.1%	27.3%
特に挑戦したり、やり込んだりしたことはない	19.7%	24.9%	33.6%	39.7%	46.6%	50.8%	54.5%
わからない	10.1%	8.0%	9.7%	11.8%	9.4%	7.5%	7.8%

#### 【学びへの意識変化】

人生100年時代のなかで、リカレント教育なども浸透

“LIFE SHIFT” (2016年 リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット著)



出典：SUSTAINABLE DEVELOPEMENT REPORT 2020 The Sustainable Development Report 2020 - The Sustainable Development Goals and COVID-19  
内閣府「令和2年版高齢社会白書（全体版）1 高齢化の現状と将来像 第1節 高齢化の状況（1）」、[https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2020/html/zenbun/s1\\_1\\_1.html](https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2020/html/zenbun/s1_1_1.html), 2021年5月31日閲覧  
国土交通省「参考資料1 2050年の国土に係る状況変化」、<https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001361257.pdf>, 2021年5月20日閲覧  
内閣府「第2回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」、[https://www5.cao.go.jp/keizai2/manzoku/pdf/result2\\_covid.pdf](https://www5.cao.go.jp/keizai2/manzoku/pdf/result2_covid.pdf), 2021年2月4日閲覧



# 4. 考慮すべき将来の変化

今後、持続的な都市経営が求められるが、少子高齢化による財源の減少等もあり、行政のみの都市経営は困難になる。  
機能バランスを活かした全体最適のまち運営により新たな価値を創出するフェーズに突入。

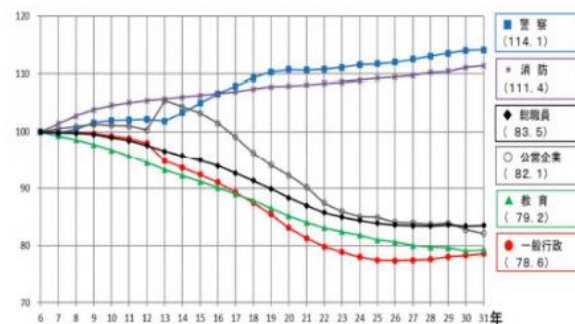
## 都市のマネジメント 安全・安心に関する変化

### 【行政による維持管理】

地方財政が厳しい状況、インフラ維持管理の負担も増大し、従来の行政による維持管理が困難になる



＜平成6年からの部門別職員数の推移  
(平成6年を100とした場合の指数)＞



※平成13年に生じている一般行政部門と公営企業等会計部門の変動は、調査区分の変更によるもの。

部門	職員数(人)
教育	79.2
一般行政	78.6

小部門	職員数(人)
特別支援学校	134.1
義務教育	80.8
給食センター	27.0
防災	316.8
児童相談所等	204.7
福祉事務所	163.3
企画開発	86.3
総務一般	84.5
清掃	49.2

策局作成

### 【開発から維持管理へ】

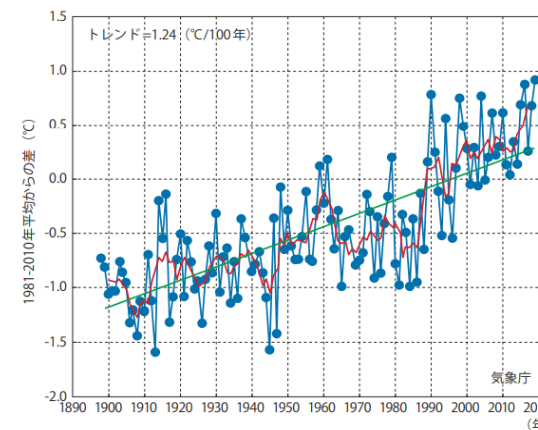
時代の潮流として今後、柔軟に空間を活用しながら維持管理する重要性が高まる



### 【持続可能性】

今後の災害の激甚化が懸念。  
カーボンニュートラルなど環境面での持続可能性の対応も必要。

観測された日本の平均地上気温の変化



資料) 気象庁

出典：国土交通省「参考資料1 2050年の国土に係る状況変化」, <https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001361257.pdf>, 2021年5月20日閲覧  
 国土交通省「参考資料1 2050年の国土に係る状況変化 6. 食料等の確保」, <https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001361257.pdf>, 2021年5月20日閲覧  
 国土交通省「デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応した都市政策のあり方検討会 資料2 中間とりまとめ」, <https://www.mlit.go.jp/toshi/machi/content/001393337.pdf>, 2021年5月31日閲覧  
 国土交通白書 2020「第1節 我が国を取り巻く環境変化 5 自然災害の頻発・激甚化」, <https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/r01/hakusho/r02/pdf/np101100.pdf>, 2021年5月31日閲覧

## 経済・産業に関する事項

先進的な取組・新たな取組を進めることで、まちの価値を高め先導する地域となるべき。  
新たなビジネスの創出のために内外との接点・交流を創出すべき。

### 新たな取組・先進的な取組のある街

- 先進的な取組への挑戦が幕張のイメージとして良い
- 近年、幕張新都心として先進的な取組ができていないのでは
- 「幕張は新しいことやってる」と感じてもらえるようにしてほしい

### 世界・日本の中の幕張新都心

- 羽田成田の中間立地を生かしていくべき
- 国際的なコミュニティへの注目を高めたい
- 後追いではなく、グローバルに先導する地域になっ  
てほしい

### 新しい技術

- テクノロジーと環境に共存した街になれば良い

### ビジネス

- (幕張テクノガーデンの中で) 皆がどのような仕事をしているのか知れる・相談できる関係性が作れると良い
- 異業種同士が混ざり会えるような場に期待

### 文化

- 幕張メッセは空間を提供するビジネスなので、様々な時代のニーズ・要請にも対応可能と考えている

## 多様化・国際化に関する事項 生活・ライフスタイルに関する事項

住む人を置き去りにせず、多様な人に寄り添えるまちであるべき  
新たなライフスタイルに合わせた街にすべき  
教育・学びの機会の創出は重要

まちの楽しさ・魅力を高めるべきであり、国際交流も含めた人同士、エリア同士の交流の創出が重要

### 人に寄り添うまち、多様性

- 多様性を許容できる社会であるべきだ
- 住む人を置き去りにしないビジョンにしてほしい
- 身近な声に寄り添っているまちが良い

### 交流・つながり

- 新駅開業を回遊性向上にどう役立てるかの議論が必要
- ベイタウン利点とオフィス利点の融合できてない点が課題と感じている

### まちの楽しさ・魅力

- 特定の目的・施設だけではなく、「まちに来る」ことが目的になってほしい

### 新しいライフスタイル

- コロナ禍のリモート環境下で、幕張新都心の魅力が高まりを見せる

### 教育・学び

- まちの発展に教育は重要である
- リカレント教育という切り口でより多様な方に参加してもらう方法もあるのではないか

## 都市のマネジメント安全・安心に関する事項

### インフラの老朽化は幕張新都心にとっても課題

情報発信・イベントなどにより、幕張新都心のブランディングを進めていくべき

まち全体で連携・交流の体制を築きながら、住民・行政・地元企業など一体となってまちづくりを進めていくべき

#### 情報発信・イベント・シビックプライド

- メディアで取り上げられるようなイベントによってまちのイメージが上がっていくのでは
- 幕張新都心もかつては新進気鋭のイメージ・ブランド力があつたが、最近はそのがなくなっている

#### 多主体連携

- 同じ想いで皆が動くには、誰が幕張新都心のまちづくりを引っ張っていくかが重要
- 役割の似ている会議体が複数あるが、街全体の会議が出来る組織があると良いのではないか
- (イオンとは協定を結んでいるが) もっと様々な交流があつて良いのでは

#### インフラ

- まちびらきから30年が経ち、インフラの老朽化・大規模修繕など懸念がある

#### 規制緩和・有効活用

- 何でも規制をするとやる気を削いでしまう
- 柔軟に・今あるものを上手く使う工夫も重要

#### 行政の役割

- 相互回遊性を高めるには、連携だけでなく、行政としての基盤作りも必要だ

## 経済・産業に関する事項

デジタル技術・新技術に配慮したまちづくりや、イノベーション・実証実験拠点形成を目指すべき  
文化が経済にとっても重要であり、より表現・発信できる場を創出すべき

### ビジネス

- ソーシャル・イノベーション拠点として幕張新都心を伸ばしていくと良い（千葉大のサテライトキャンパス設置も一案）
- ソーシャルベンチャーのようなものを進めようとしている若い世代が多くいるので、**気軽に安価で使えるオフィス、集積拠点**があると良い

### 新しい技術

- ノン・ヒューマン・エージェントにも配慮したまちづくりが必要
- デジタルに関するシステムを行政・民間・住民が一緒に導入していくことで、仮想実験・実証実験の場になり、企業・研究者・人が**集まる環境**にもなるのではないかと

### 文化

- 幕張新都心から**現代文化を具体的に表現**すればよいのではないかと
- 今は受け皿ではなく、**発信ができる街である必要**がある
- 文化があるからこそ経済は活性化される部分が多分にあるので、**都市にアートや文化があり、そこに足を運びたい**ような仕掛けは非常に重要
- 文化があることで経済が発展することを考慮すべきであり、**アーティストや研究者、デザイナー等がまちづくりに登用されるような枠組**があると良い
- 文化醸成の意味では、自由に使える余白を都市のなかに用意し、若い人が入り込む、新しい事業を行うなど、**チャレンジできる場所が解放**できる仕掛けがあると良い

## 多様化・国際化に関する事項 生活・ライフスタイルに関する事項

学びの場・生涯学習の場をより提供していくべき  
一人ひとりの住民の想いに寄り添いつつ、既にある豊かな空間を有効活用し、多様性を創発できるような  
仕掛けやコミュニティづくりを進めていくべき  
異なるゾーンの主体が交わる仕掛けを作ることによって多様な活動・新規性に繋がる活動が生まれるのではないかと

### 多様性のあるまち

- よく見ると一人ひとりの暮らしや考えもあるはずなので、個の魅力が高められるような形にしたい
- 意図的に多様性を創発できるような仕掛けが出来ると面白い

### 教育・学び

- 生涯学習の場を作り様々な世代や地域の方が参加出来ると良い。
- 就業場所や学びの場が、居住人口の割に明らかに不足している。

### まちの楽しさ・魅力

- 歩車分離で歩道が広く整理されているおり、空間的な余白が多いので、非常に豊かであるため、様々なことが出来る

### 交流・つながり

- ゾーンの中に飛び地をつくるなど、行政がプラットフォームになり仕掛けを構築したい
- ゾーニングがしっかりしていることの良さを維持しながら、混ぜて良い部分を混ぜていくことが必要
- 個々の場所をいかに混ぜていくかが幕張の明確な課題だ

## 都市のマネジメント安全・安心に関する事項

**柔軟に管理・更新のできる都市づくりが必要**  
**地元住民・企業など多様なプレイヤーが参加でき、まちづくりを進められる仕組みを整えるべき**  
**情報発信や市民の誇りを高める活動をより進めるべき**

### インフラ

- 全てを一気に変えるのではなく、**全体像を踏まえながらバージョン管理をしていくことが重要であり、柔軟な都市づくりが必要**である
- トップダウンでビジョンを出すというよりも、市民が都市を作ることの出来る余白を生み出すべき

### 情報発信・イベント・シビックプライド

- 幕張新都心がやっていることをどんどん発信する**基盤を整えるのがよい**
- 関わる市民の誇りが高まるような活動を作り出すことが**重要だ**

### 多主体連携

- (まずはエンタメを切り口として取組を始め、領域横断の知見・ノウハウを他の切り口でも展開していくことが効果的か) **戦略的な進め方が必要だ**

### 住民参加

- 小さな企業体・アクティビティストだけでは難しかったが、**今後は人々の共有された想いがまちを変える力になるのではないか**
- **市民が直接物事を決められる仕組みがあり、皆で予算の使いみちも決められる仕組みがあると面白い**
- 課題を市民から吸い上げることも**重要と思う**
- デジタルでのアクセスも一つの住民参加として捉えるべき時代だ

## 「まちづくりの理念」

幕張新都心のこれまでの歩みを踏まえ  
これからも大切にすべき考え

- ◆ フロンティアスピリットを継承し、職住学遊の複合機能が融合した幕張新都心らしい生活や活動を誇りにできる都市
- ◆ 常に未来を追い求め、チャレンジを繰り返しながら成長する都市



## 「幕張新都心の目指すべき姿」

まちづくりの理念を前提とした、幕張新都心のありたい姿

### 【新規性・先端性】

幕張新都心から新しいコト・モノを生み出す

### 【多様性】

多様な人・活動を受け入れ応援する

### 【都市経営】

様々な主体・住民が協働しながら、  
幕張新都心を持続的に成長するための仕組み・基盤を整える

それぞれの取組を進めることで、  
を達成する

目指すべき姿へ向かうために：  
まちづくりの方向性



## 目指す都市像

人と街のチャレンジが続き、ここにしかない嬉しい新しさが生まれる都市  
常に未来を追い求め、チャレンジを繰り返しながら成長する都市

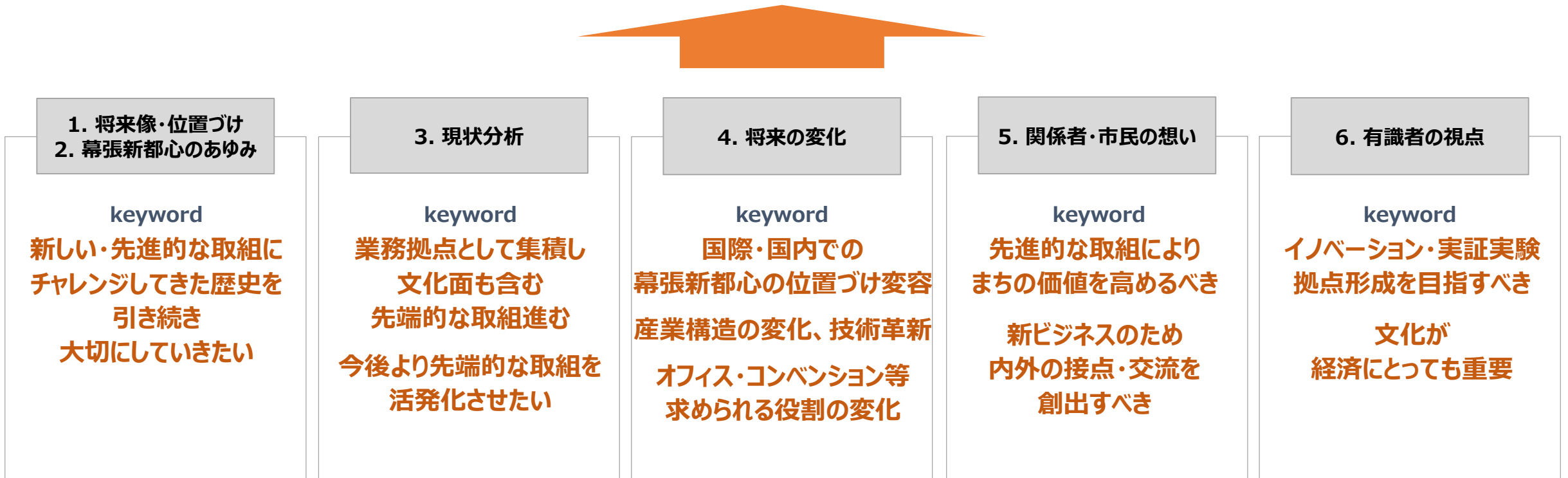


これまでの各種計画における将来像・位置づけや幕張新都心のあゆみ、また現状分析・考慮すべき将来の変化ならびに関係者・市民や有識者のご意見を踏まえ、「**新規性・先端性**」「**多様性**」「**都市経営**」の三本柱が重要である。

## 【新規性・先端性】

幕張新都心から新しいコト・モノを生み出す

幕張新都心を取り巻く環境や産業構造の変化に対応し、首都圏や千葉県内をリードする存在であり続けるために、新たなコト・モノを創出する土壌が必要。

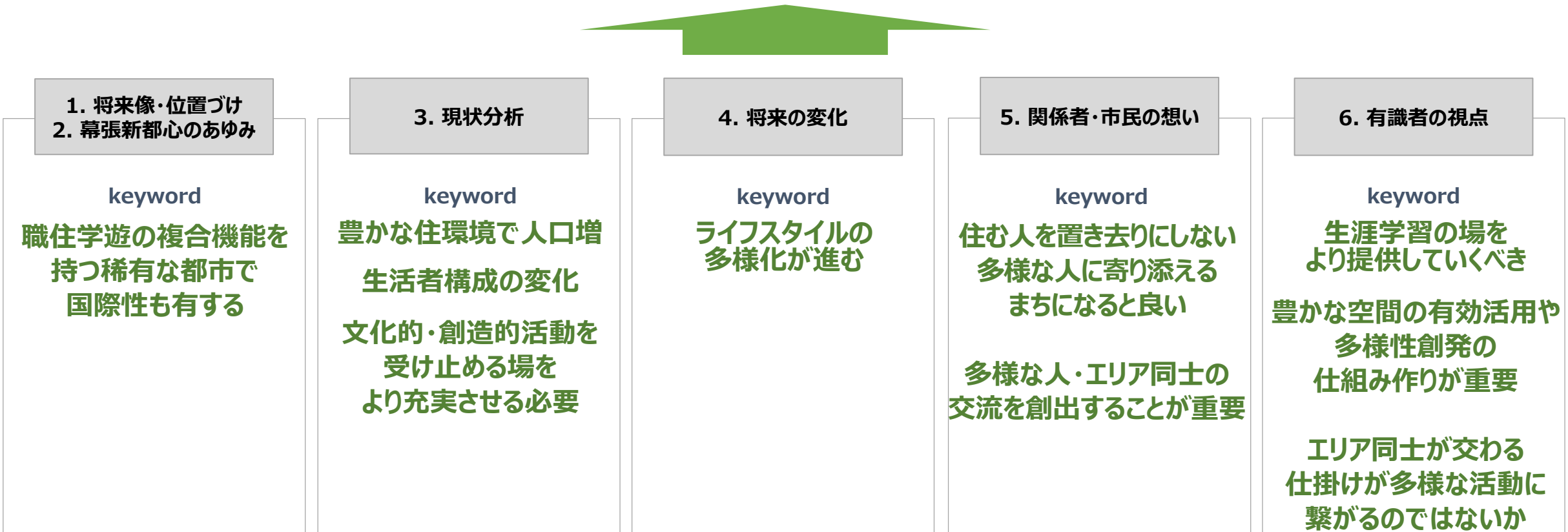


これまでの各種計画における将来像・位置づけや幕張新都心のあゆみ、また現状分析・考慮すべき将来の変化ならびに関係者・市民や有識者のご意見を踏まえ、「**新規性・先端性**」「**多様性**」「**都市経営**」の三本柱が重要である。

## 【多様性】

多様な人・活動を受け入れ応援する

既に備わるまちの多様な機能を活用しながら、幕張新都心内外の多様なヒト・モノ・コトの交流を促し、幕張新都心の価値や多様性の向上を目指すべきだ。

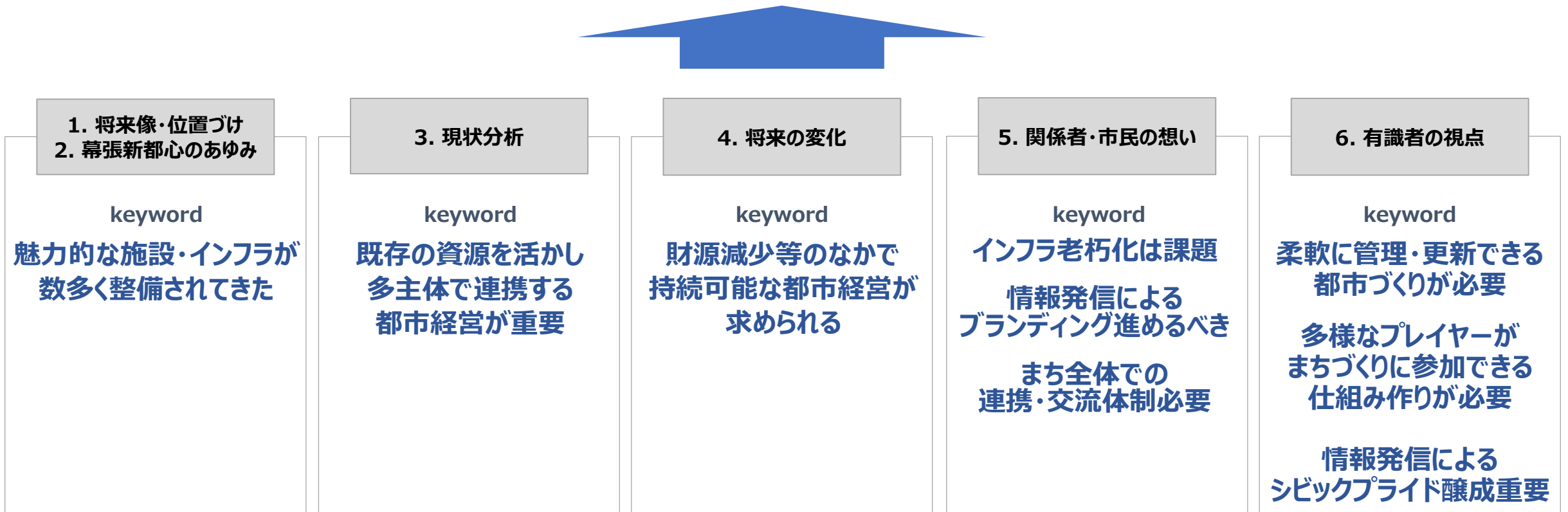


これまでの各種計画における将来像・位置づけや幕張新都心のあゆみ、また現状分析・考慮すべき将来の変化ならびに関係者・市民や有識者のご意見を踏まえ、「**新規性・先端性**」「**多様性**」「**都市経営**」の三本柱が重要である。

## 【都市経営】

様々な主体・住民が協働しながら、幕張新都心を持続的に成長するための仕組み・基盤を整える

行政が多様な主体と連携しながら、ハード・ソフトの両面で新たな都市経営の仕組み・基盤を検討すべきだ。



# 7. 目指すべき姿 (2) 幕張新都心のありたい姿

新しいコト・モノを生み出し、そこに多様な主体や活動が集まり、さらに新しいコト・モノが生まれるという好循環を持続させながら、常に“尖り”つづける幕張新都心を目指す。

## 幕張新都心から新しいコト・モノを生み出す (新規性・先端性)

- ・ 職住学遊の複合機能がコンパクトに揃う強みを活かし、立地企業・地域住民などの多様な活動主体の交流・連携を促すことで、新たなコト・モノを生み出す。
- ・ 幕張新都心を取り巻く環境や産業構造の変化を踏まえ、新たな幕張新都心の価値を創出し、域内外からの多様なヒト・モノ・コトが集積し続ける拠点を目指す。
- ・ 幕張メッセやマリスタジアムなどの既存の都市基盤・インフラに加え、整備が進む新駅周辺などの開発事業も活用しながら、スポーツ・文化・エンタメなど多様な分野で、継続して先進的な取組にチャレンジし、発信していく。

より多様な人・活動が受け入れられ  
新しいコト・モノが生み出される  
土壌が築かれる

新しいコト・モノが生み出される  
魅力ある環境に、  
より多様な人・活動が集まる

好循環を  
より高める

## 多様な人・活動を受け入れ応援する (多様性)

- ・ 幕張新都心の各ゾーンで「飛び地」を作り、分野融合・多様性の向上を誘発させる。
- ・ ポストコロナの新常態や、ライフスタイルの多様化に対応し、職住学遊の垣根を越え多様で豊かな活動が実現できる環境を形成する。
- ・ 職住学遊の多様な主体や、コンベンション機能やインターナショナルスクールといった資源が集うことを活かし、年代・国籍などを問わず誰もが気軽に働き・学び・チャレンジしながら、いつまでもいきいきと暮らせる環境づくりを進める。

## 様々な主体・住民が協働しながら幕張新都心を持続的に成長するための仕組み・基盤を整える(都市経営)

- ・ 既存の地元団体やその活動を連携・拡大させ、まちへの誇りを持ちながら一体となってまちづくりを進めることができる仕組み、運営体制づくりを目指す。
- ・ 規制緩和や柔軟な空間の活用等、多様な主体の都市経営への参加を促す環境づくりを進める。
- ・ スマート技術などの新たな手法を導入し、まちの魅力を支える都市基盤・インフラの持続的な管理・更新、持続可能な幕張新都心の実現を目指す。

# 8. 目指すべき姿へ向かうために：まちづくりの方向性(案)

「新規性・先端性」「多様性」「都市経営」の三本柱を達成すべく、分野ごとに以下の7つのまちづくりの方向性を掲げる。

なお、これらの方向性は、行政だけでなく幕張新都心に関わる市民・企業など協働しながら、皆の力で進めていきたいと考えるものである。

## 目指すべき姿へ向かうために：まちづくりの方向性

それぞれの取組を進めることで、  
三本柱を達成する

【新規性・先端性】

【多様性】

【都市経営】

【1. 主に「職」に関すること】  
まち一体となって  
新たなコト・モノが生み出せる  
豊かな環境を作る

【2. 主に「住」に関すること】  
建設当初の理念を尊重しながら、  
現在のライフスタイルの  
多様化にも対応した、  
誰もが憧れる住環境を築く

【3. 主に「学」に関すること】  
多様な活動主体が  
刺激的で先端的な  
学びの出来る  
環境を創出する

【4. 主に「遊」に関すること】  
既存の魅力的な資源を  
より豊かに活用し、  
まち全体の楽しさを高める

【5. 柔軟活用・回遊性に関すること】  
既存の資源を柔軟に活かし、  
繋げることで、  
各エリアの融合を促進し  
一体感を醸成する

【6. 市民参加に関すること】  
住民・企業など  
多様な主体が手を取り、  
幕張新都心に誇りを持つための  
取組・体制づくり

【7. 基盤・持続可能性に関すること】  
誰もが幕張新都心で  
安心して暮らせる基盤づくり

# 8. 目指すべき姿へ向かうために：まちづくりの方向性(案)

## 【1. 主に「職」に関すること】

### まち一体となって新たなコト・モノが生ま出せる豊かな環境を作る

No	取組の方針	具体的な取組イメージ	関連する機能				関連する3本柱		
			職	住	学	遊	新規性 先端性	多様性	都市 経営
1	企業同士の協働、学生・住民との協働により、新たなコト・モノが生ま出されるための環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕張新都心内外での企業・ベンチャー交流会の実施</li> <li>企業同士のネットワーク構築・マッチング、これらの支援</li> </ul>	●				●		
2	学生・住民が楽しみながら協働し、企業・住民一体となって新たなコト・モノが生ま出せる環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学と連携したソーシャル・イノベーション拠点の展開</li> <li>リビングラボなど地域の住民・学生が主体的に参加できる共創環境づくり</li> </ul>	●	●	●		●	●	
3	幕張新都心が持つ資源であるスポーツ・文化・エンタメなどにおいて、先進的な取組や分野横断型ビジネスへチャレンジできる環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕張新都心の都市基盤を活用した先進的なイベント、取組の実施・環境作り</li> <li>スポーツ×技術、文化・エンタメ×技術など、分野を跨いだ企業・組織間の交流・連携</li> </ul>	●			●	●	●	
4	世界に開かれた幕張新都心を目指すための環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>外資系企業の企業立地に対する優遇措置</li> <li>高度外国人材の居住環境・教育環境の向上・アピール</li> <li>幕張メッセ等を活用したコンベンションの開催</li> </ul>	●	●	●	●	●		
5	リモートワーク時代のなかで、幕張新都心の豊かな自然環境を感じながら、柔軟に働ける環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート時代にも対応した、スタートアップ・ベンチャーにも利用しやすい、オフィス空間・ワークスペースの整備</li> <li>海・緑の感じられる“幕張新都心版ワーケーション”の展開</li> </ul>	●			●	●	●	

## 【2. 主に「住」に関すること】

建設当初の理念を尊重しながら、現在のライフスタイルの多様化にも対応した、誰もが憧れる住環境を築く

No	取組の方針	具体的な取組イメージ	関連する機能				関連する3本柱		
			職	住	学	遊	新規性 先端性	多様性	都市 経営
1	建設当初から守られてきた良好な居住環境をより高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅地の景観、居住環境を維持・向上していくための取組</li> </ul>		●				●	
2	新しいライフスタイル、居住構成の多様化に対応した機能・取組を取り入れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモートワーク時代に対応した住居周辺での生活環境の充実（コワーキングスペースの整備、キッチンカーなど）</li> <li>高齢化・国際化に対応した地域での見守り・手助けサービスの展開、生活をサポートするスマート技術の導入</li> </ul>		●			●	●	
3	幕張新都心全体のまちづくりへの参画や、企業の実証実験への参加・貢献等、住民の活動の幅を広げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕張メッセ等の際の集客イベントでのボランティアなど、住民がまちの運営に参画する機会を増やす</li> <li>幕張新都心に立地する企業の実証実験や、幕張メッセを使った実証実験等に住民が参画する場づくり</li> </ul>	●	●		●	●		



## 【3. 主に「学」に関すること】

### 多様な活動主体が刺激的で先端的な学びの出来る環境を創出する

No	取組の方針	具体的な取組イメージ	関連する機能				関連する3本柱		
			職	住	学	遊	新規性 先端性	多様性	都市 経営
1	幕張新都心の誰もが刺激的に学び合える場をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕張新都心に立地する教育機関等(高校・大学・インターナショナルスクール等)による、地域に開かれた多様な学びの場の展開</li> <li>幕張新都心に住む・活動する知見やスキルを持つ人々による、学び合いの場の展開</li> <li>幕張新都心に住む・活動する人々の知見・スキルのマッチング(学生・ワーカー・シニア・外国人など多様な人々による学び合い・助け合い)</li> </ul>	●	●	●	●		●	
2	新たなコト・モノが生み出す体験をしながら、教育機関や企業の持つ先端的な知見・技術が学べる環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学と連携したソーシャル・イノベーション拠点</li> <li>リビングラボなど地域の住民・学生が主体的に参加できる共創環境の提供</li> </ul>	●		●		●	●	

# 8. 目指すべき姿へ向かうために：まちづくりの方向性(案)

## 【4. 主に「遊」に関すること】

既存の魅力的な資源をより豊かに活用し、まち全体の楽しさを高める

No	取組の方針	具体的な取組イメージ	関連する機能				関連する3本柱		
			職	住	学	遊	新規性 先端性	多様性	都市 経営
1	各施設・催しと連携しながら、まちの賑わいをより面的に広げ高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業施設の地域連携を強化、賑わいを面的に広げる(地域共通ポイント、幕張海浜公園など近隣の空間と合わせた連携イベント等)</li> <li>幕張メッセ等でのイベントに合わせた関係者間の連携により、来街者の滞留を促進(地域一体となったイベント、ナイトエコノミーの充実等)</li> </ul>				●		●	
2	デジタル技術を活用した、リアル・デジタルの融合した新たなエンターテインメントの創出・発展を進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕張メッセ・スタジアム・海浜公園でのバーチャルと融合したエンターテインメントに関する取組の推進</li> </ul>				●	●		
3	魅力的な“遊”の資源を、より地域に対して開かれたものとし、魅力を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉マリスタジアムをより地域に日常的に多様に開く試み(地域に開かれたスポーツイベント・運動体験、スポーツ科学の市民協働実証実験など)</li> </ul>				●		●	
4	幕張新都心が誇る緑・公園・海を、より誰もが使いやすい豊かな空間へ高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑・公園・海における安全性の向上、アクセス性の向上</li> <li>緑・公園・海におけるイベント・柔軟利用の促進</li> </ul>				●		●	●

## 【5. 柔軟活用・回遊性に関すること】

既存の資源を柔軟に活かし、繋げることで、各エリアの融合を促進し一体感を醸成する

No	取組の方針	具体的な取組イメージ	関連する機能				関連する3本柱		
			職	住	学	遊	新規性 先端性	多様性	都市 経営
1	空間の柔軟活用・資源のシェアリングによるエリア融合・回遊性向上を促進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>スカイウェイ、メッセモールなどエリア同士を繋ぐオープンスペースの柔軟活用・仕掛け作り（イベント利用、ストリートアートの展開など）</li> <li>各ゾーンの空き地・空き空間を暫定利用、他ゾーンの機能を導入し融合を促進（「飛び地」の形成）</li> <li>各プレイヤーが持つ資源・物品のシェアリング</li> <li>空間・資源のシェアリングを円滑するデジタルプラットフォームの活用</li> </ul>	(一体的な取組)				●	●	●
2	エリア全体での一体感を向上させるためモビリティを充実する	<ul style="list-style-type: none"> <li>域内モビリティを活性化させる、パーソナルモビリティの充実、新たな交通技術の導入（シェアサイクルを始め、誰もが使いやすいモビリティの積極的な導入・拡充）</li> <li>新駅開設も考慮し域内外を繋ぐモビリティ網を充実</li> <li>幕張新都心での人流・滞留データの取得・活用と、データを活用した回遊性向上・仕掛け創出のための戦略づくり</li> </ul>	(一体的な取組)				●	●	●
3	時代に即した土地利用の柔軟な運用によりエリア全体の融合を促進し、賑わいを高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>京葉線新駅周辺・拡大地区の未利用地など、エリア全体の賑わい・周辺エリアとの調和も踏まえた土地利用の柔軟な運用</li> </ul>	(一体的な取組)						●

## 【6. 市民参加に関すること】

### 住民・企業など多様な主体が手を取り、幕張新都心に誇りを持つための取組・体制づくり

No	取組の方針	具体的な取組イメージ	関連する機能				関連する3本柱		
			職	住	学	遊	新規性 先端性	多様性	都市 経営
1	既存の地元団体やその活動が連携・拡大させ、一体となってまちづくりをすすめることができる仕組み・運営体制をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織横断的なエリアマネジメント団体を組成</li> <li>幕張新都心一体でのブランディング戦略・シビックプライド戦略</li> <li>災害等に備えた、地元のプレーヤー間の連携体制の構築</li> </ul>	(一体的な取組)					●	●
2	デジタル技術を活用しながら進める、より多様な主体がまちづくりに参加できる仕組みをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマート基盤・IoT技術等を導入した都市活動の可視化</li> <li>オンラインプラットフォームも活用した市民参加によるまちづくりとその実践(空間の柔軟活用など)</li> <li>アーティスト、デザイナーなどクリエイティビティのある人材による取組、情報発信の推進</li> </ul>	(一体的な取組)					●	●

## 【7. 基盤・持続可能性に関すること】

### 誰もが幕張新都心で安心して暮らせる基盤づくり

No	取組の方針	具体的な取組イメージ	関連する機能				関連する3本柱		
			職	住	学	遊	新規性 先端性	多様性	都市 経営
1	より市民の暮らしを豊かに送るための、都市へのデジタル基盤の導入・デジタル技術・新技術を見据えた都市の基盤作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>無人運転やロボットの動きやすい動線、都市データが取得できるIoTセンサーの導入など、新技術にフレンドリーな都市基盤づくり</li> <li>幕張新都心の各企業・各団体が持つデータの連携システム構築</li> </ul>	(一体的な取組)				●		●
2	デジタル技術も活用した高度なインフラ維持・管理、安全性向上を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>IoTカメラ、ドローンなど新技術を活用した安全・安心データの取得と一元管理</li> <li>災害時の一次避難・帰宅困難者対策に資するデータプラットフォームの整備、緊急時情報発信ダッシュボードの構築</li> </ul>	(一体的な取組)				●		●
3	世界・地球にも貢献できる持続可能な幕張新都心を築く	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷を低減する新たな建築・建替</li> <li>冷暖房システムなど幕張新都心に導入されてきた先端システムの、より環境負荷の低い形への更新</li> </ul>	(一体的な取組)				●		●

# 9. 幕張新都心の変革による期待効果・広域への波及

新規性  
先端性

多様性

都市  
経営

## 試案

まちでは新たなコト・モノが生まれ、  
市民が先端的な学び・知見を得られる  
ソーシャル・イノベーション拠点、リビングラボなど

資源が柔軟に活用、繋げられ、  
各エリアの融合が促進・一体感が醸成  
空間の柔軟活用、モビリティの充実など

全国・世界に  
幕張新都心から  
新たなコト・モノが発信



“尖り”があり  
多様な人・活動を受け入れる幕張新都心に  
全国・世界から人が集まる

ライフスタイルの変化にも対応した  
誰もが憧れる住環境が築かれる

リモートワーク時代への対応  
高齢化・国際化への対応  
実証実験に住民が参画する場づくりなど

多様な主体が手を取ることで、  
一体となってまちづくりが進められる

エリアマネジメント団体を組成  
幕張新都心一体でのブランディング戦略など

魅力的な資源がより豊かに活用され、  
まち全体の楽しさが高まる

地域に開かれたイベント、バーチャル融合の取組など

誰もが幕張新都心で安心して暮らせる

デジタル都市基盤、高度なインフラ維持・管理、  
環境負荷を低減させる建築の更新など